

医療管理学	2年・前期	1単位	非常勤講師 一戸 真子
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32310502

1. 授業のねらい・概要

患者への最適なヘルスケアの結果は、マンパワー、個々の医療従事者のスキル、医療機器や医療材料、手術室や病棟環境など様々な要因が複雑に絡み合った結果であることについての理解を深められるよう講義する。また、保健・医療・福祉・介護の諸制度や法律も多大に影響していることについても講義する。ヘルスケアサービス提供における各機能および組織の理解、医療者一患者・家族関係の重要性、標準化や評価の視点の理解など、保健と医療、介護、福祉それぞれとの連携も含め、ヘルスケアの質を高めるためにはどのようなことが重要であるかについて講義する。最終的なゴールである人々の健康の回復やQOLの向上には具体的にどのような視点が必要であるかについても講義する。

2. 学修の到達目標

1. 最適なヘルスケアの結果に影響を及ぼす各要因について説明できる。
2. 保健・医療・福祉・介護の諸制度や法律について説明できる。
3. 医療者一患者関係の重要性について説明できる。
4. 評価および標準化の必要性について説明できる。
5. ヘルスケアの質の向上に求められる要素について理解し、人々の健康の回復やQOLの向上について深く理解できる。

3. 授業の進め方

ヘルスケアの提供を取り巻く各影響因子は多岐にわたり大変複雑なので、できるだけ分かりやすく解説し、理解度を確認しながら進めていく。

4. 授業計画（講義）

1. ヘルスケアの質と構成要素	9. 医療と介護の連携によるケアプロセスの質
2. 質の測定（ストラクチャー、プロセス、アウトカム）	10. 医療機能・チーム医療
3. 教育・研修の重要性と評価	11. 患者・家族一医療従事者関係
4. スタンダードと医療の標準化	12. 患者のQOL・ADL
5. プレホスピタル・プライマリケア	13. 患者満足度、医療従事者満足度
6. 高度医療・急性期医療の質	14. マネジメントの重要性
7. 回復期・慢性期医療の質	15. 保健・医療・福祉・介護の諸制度と質
8. 終末期医療の質・がん医療の質	

5. 成績評価の方法・基準

小テスト 30%，定期試験 70%。

6. テキスト・参考文献

テキスト：武田裕子編 『医療学総論』メヂカルフレンド社
参考文献：必要に応じて授業内に紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業内容の理解を深めるため、予習として次回の単元に関するテキストを読み込んでおくことと、暗記事項に関する復習は単元ごとに行うこと。これらの予習・復習の時間には2時間以上必要とする。

8. 受講上の留意事項

実際の医療現場では様々な要因が影響していることを理解し、将来看護の専門性を最大限発揮できるよう活躍して欲しい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

小テスト・試験内容については、提出後に解答などを提示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当する。本授業は、病院評価における実務経験を活かして指導する。